Ça va? ⊆⊇⊆⊇⊆⊇⊆⊇⊆⊇⊆⊇⊆ 声 ⊇⊆⊇⊆⊇⊆⊇⊆⊇⊇⊆⊇⊆⊇Junko Higasa

シャンソン・フランセーズといえば「低く渋く」が魅力という定説があるので、女性でも大概低い声を鍛えるようだ。私も高い声より低い声の歌唱の方が好きで、男声なら分野を問わずバリトンが好きである。けれどそれは単なる響きの美しさのせいばかりではないことにある日気づいた。私が今まで気に入ったシャンソン・フランセーズは圧倒的に男性が多い。それは歌の内容が社会的であるということもあるのだが、声の高さが落ち着くからである。何故落ち着くか？それは自分の中にある音だからである。自分の中の音とは持って生まれたもの。端的に言えば自分の声である。それに加えて環境上で耳にしてきた音の Hz 数の影響も少なくない。いや、むしろその影響の方が大きいかもしれない。幼い頃から教会音楽に触れ続けたモーツァルトの作品が天上音楽だったように。だから人によって音の好みが違うのは当然だと思う。そして私は同世代の同性と好みが合わない。その理由が図らずもクラシックで明らかになった。

ある日、イタリア歌曲が気に入った私は、その歌を覚えたくて手元の錦織健さんの CD に合わせて歌ってみた。「ン？」う、歌いやすい。この高さ楽。私の性別は「女性」であるが声域はテノール？まさか…ということで今度はプラシド・ドミンゴさんの CD とも合わせてみた。出る…どちらかというと無理なく。そこで私は好きだけれど声の高さが合わないカッチーニの「アヴェ・マリア」で合う人はいないかと探してみたら女声も男声もほぼ全滅だったが、カウンターテナーのスラヴァ（Slava Kagan-Paley）さんのキーなら出た。少なくともこれで私が男性の歌唱を聴いて子守歌のように落ち着く理由がわかった。もっとも同じ声域の中でも高め低め―そう聴こえる声質がある。私はその声域の中でも高めの澄んだ音が好きでシャンソン・フランセーズやミュージカル界が絶賛するハスキー・ヴォイスは、好きな人はごくわずかで苦手な人の方が多い。いずれにしても上に抜け過ぎず、床から 50～70 度辺りを弓状の弧を描いて滑らかに伸びていく明るい声が一番好きである。

そういうわけで DNA と相性のよい音が分かったわけであるが、女性でテノールってあるのかしら？と思って調べたらあった。コーラスで「男性のアルト」「女性のテノール」のパート交換が。それはゴスペルなどで行われるらしい。変種かもしれないが一応生物学上「女性」と一致してよかった。そして何故私が教会という建物が好きであるかもわかった気がする。また何故外国語の歌ばかり好むのかも。日本で日本人として生まれた私は小学生の頃、よく日本語が滑った。しかも夢中で喋っていると時々日本語が巻き舌になった。いくら祖母が神田生まれの江戸っ子とはいえ。同級生の男の子が「どうしてそうなるの？」と真剣な面持ちで注意しに来たことは未だに記憶の底どころか上辺に漂っている。けれどその巻き舌のお蔭で、語学には秀でていないが発音だけはどの分野でも褒められた。懸念は時々「L」が「R」になるところである。

そういうわけで殆ど外国語の男性ヴォーカルを聴き、女性の歌にあまり興味を示さない私である。道理で「女性＝アルト」という観念のコーラスに興味を示せないわけ。

ところでピアニストの皆様、万が一歌い手に「？」という女性がいたら、♯ばかりの譜面で「黒鍵ばかり勘弁してよ」と嘆かずに「失礼ね、私、女よ」という罵倒を許して、他のキーを勧めてみてください。シャンソン・フランセーズは「女性」「男性」の言葉の区別は厳しいけれど、音のほうはうるさく言いませんから。　(2012.11.18)

⊆⊇⊆⊇⊆⊇⊆⊇⊆⊇⊆⊇⊆⊇⊆⊇⊆⊇⊆⊇⊆⊇⊆⊇⊆ *Ça va, merci. Et toi?*